2022年6月23日

11月祭事務局

第64回京都大学11月祭全学実行委員会への提案

1. 議事(案)

- (1) 夏の企画登録会での募集範囲について
- (2) 要望書の大学への提出について
- (3) 声明文について
- (4) 大学から第65回11月祭の日程について変更の要請があったことの報告

2. 夏の企画登録会での募集範囲について

前回の全学実行委員会で提案した「7月の企画登録会において、対面の一般企画に関して京大生先行登録とすることの提案」について、前回の最後に述べたように提案を取り下げる。前回の事務局の提案としては、京都府のガイドラインや来場者管理の観点から11月祭期間中に入構制限する可能性が極めて高く、その際に企画構成員の入構数も制限しなければならない可能性が高い。企画登録した後に入構者を制限することは企画出展者にとって準備を進める上で負担になると考えたため、7月の企画登録会の企画構成員の入構者を京大生のみに制限するというものであった。

しかし、全学実行委員会参加者の意見として、企画構成員の入構を制限するにしても後から制限を加えた方がよいとの意見が多かったため、11月祭事務局はそのような意見を踏まえて提案を取り下げた。事務局内で再度検討した結果、前回の参加者の意見通り、夏の企画登録会での募集範囲をコロナ禍以前と同様にすることを報告する。

3. 要望書の大学への提出について

前回の全学実行委員会で承認された要望書について、6月17日(金)に大学の厚生課課外活動掛に提出した。特に「大学当局には、11月祭の日程等、11月祭の根幹に関わる事項であれば、大学当局が検討した段階で学生側に連絡するよう求めるとともに、全学実行委員会の要望があれば話し合いに応じることを求める」の部分を強調して伝えた。大学の担当者の返答としては、「今までもしてきたし、今後も止める予定はない」とのことであった。

4. 声明文について

(別紙参照)

5. 大学から第 65 回 11 月祭の日程について変更の要請があったことの報告

第 63 回京都大学 11 月祭全学実行委員会で承認された第 65 回 11 月祭の日程について、大学から日程を変更したいとの連絡があった。具体的には、全学実行委員会では 11 月 23 日（木・祝）～26 日（日）の日程が承認され、これを大学に提案したが、大学が希望した 11 月祭の日程は 11 月 22 日（水）～25 日（土）である。理由としては、全学実行委員会が提案した日程では、月曜日の授業数が足りず、曜日振り替えの数が多くなってしまったため、とのことであった。

これについて、事務局としては、全学実行委員会の提案通りの日程にすることができないか、大学と話し合いの場を設け、協議を行いたいと考えている。